



しいのみつうしん

第20号

糖尿病と薬 その1

糖尿病って何？

糖尿病とはすい臓から分泌されるインスリンというホルモンが十分に働かなくなったために、血液中に利用できなくなったブドウ糖が増えて高血糖になった状態をいいます。

血液中のブドウ糖はインスリンにより取り込まれ、あらゆる細胞に運ばれてエネルギー源として利用されるほか、グリコーゲンという物質になり肝臓や筋肉に蓄えられたり、脂肪に置き換えられたりします。しかし、高血糖が長く続くと、全身の血管や神経、その他さまざまな臓器に障害を引き起こし、万病のもとになります。



糖尿病の分類と原因

糖尿病は I 型糖尿病と II 型糖尿病にわけることができます。

● I 型糖尿病（小児糖尿病がその代表です）

インスリンがまったく分泌されなくなったタイプをいいます。頻度としては糖尿病の約 1% 程度です。大半が 15 才以下の子供に発病します。

原因はウイルスなどの感染をきっかけに自己免疫反応（自分の細胞を敵「異物」として自身を攻撃する反応）が働き、すい臓にある、インスリンを分泌する細胞を破壊し、インスリンの分泌が低下し、ブドウ糖を利用できなくなり高血糖になります。最後には、インスリンはほとんど作られなくなりますので治療にはインスリンの注射が欠かせません。

● II 型糖尿病（いわゆる成人糖尿病）

インスリンの分泌量の低下やインスリンに対する感受性の低下により発症するタイプを II 型糖尿病と言います。日本人の糖尿病患者さんの 95% 程度を占めています。

原因は遺伝素因のある方に、食べ過ぎや運動不足、肥満などが加わってインスリンの分泌や作用が低下することが考えられます。

糖尿病の診断と血糖コントロールの評価について

日本糖尿病学会による診療ガイドライン（2004－2005）

	優	良	可		不可
			不十分	不良	
HbA1c値(%)	5.8未満	5.8～6.5未満	6.5～7.0未満	7.0～8.0未満	8.0以上
空腹時血糖値(mg/dL)	80～110未満	110～130未満	130～160未満		160以上
食後2時間血糖値(mg/dL)	80～140未満	140～180未満	180～220未満		220以上

経口血糖降下薬の分類

		分類	主な薬	飲み方とコツ	主な副作用
インスリンの分泌を促す	効き目が長い	スルホニル尿素薬(SU剤)	グリミクロン アマリール オイグルコン ダオニール グルタミール ベンクラート	服用時間は食直前、又は食直後になります。	体重がふえる事があります。また、血糖コントロールが良い時には低血糖に注意が必要です。
	効き目が短い	速効型食後血糖降下薬(グリニド系薬)	グルファスト ファスティック	服用時間はグルファストは食事5分以内、ファスティックは食事10分以内です。効きが早いので、食事を用意してから飲むといいでしょう。	血糖コントロールが良い時には低血糖に注意が必要です。
インスリンの分泌を促さない	抑える 食後の血糖を	α グルコシターゼ阻害薬	グルコバイ ベイスン	食前に飲み忘れた時は食事中に服用して下さい。低血糖が起きた時、砂糖では効果がないので、ブドウ糖を準備しておきましょう。	飲み始めは、お腹がはり、ガス(おなら)がでやすくなります。
	インスリンの効き目をよくする	ビグアナイド薬	ネルビス メデット メルビン	筋肉での糖の利用を高めたり、肝臓で糖をつくるのを抑制することでインスリンの効きをよくします。	乳酸アシドーシス(吐き気、下痢、腹痛、食欲不振などの症状)が起こる事があります。
		インスリン抵抗性改善薬	アクトス	インスリンの効きをよくして、血中ブドウ糖の利用を高めます。	女性の場合、むくみが出やすい事があります。また、肝機能障害がまれに起こることがあります。そのため、肝機能の検査を定期的に行います。

その他に、キネダック、メキシチールという糖尿病による神経障害(しびれや痛み)を改善する薬があります。キネダックの服用中に尿が黄褐色または赤色に変色しますが心配いりません。

低血糖ってどんな症状？

血液中の糖分が少なくなりすぎた状態(血糖が67mg/dL以下)で、急に異常な空腹感、力の抜けた感じ、冷や汗、動悸、手足のふるえ、眼のちらつき、意識喪失等が起こる症状をいいます。

低血糖症状に気づいたら、すぐその場で砂糖、又はブドウ糖(10~15g)を取る事が必要です。ブドウ糖は無料でお渡ししていますので、必要な方は気軽に近くの薬剤師に声をかけて下さい。

しいのみ薬局 関市上白金 105-1 ☎0575-27-0130 Fax 0575-27-0131

しいのみセンター薬局 岐阜市北山 1-14-27 ☎058-241-1818 Fax058-241-1839

華陽しいのみ薬局 岐阜市祈年町 1-19-2 ☎058-271-1640 Fax058-275-1949

お薬や「健康食品」のことなどに関して、Eメール(shiinomi@blue.ocn.ne.jp)によるご相談もお受けしています。お気軽にご相談下さい。

ファルマネットぎふ ホームページ(<http://www.pharma-net.co.jp>)